

先生各位

## 新規受託項目と中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目につきまして新規受託と中止のご案内をさせていただきます。  
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

● 変更実施日 2019年2月1日（金）受付分より

● 新規項目

| 項目コード | 項目名称   | 検体量 (mL)   | 容器 | 保存 | 所要日数 | 実施料判断料       | 検査方法  | 基準値                            |
|-------|--|------------|----|----|------|--------------|-------|--------------------------------|
| 3352  | Jug r 1 (カミ由来)<br>(JLAC10 : 5A100-2795-023-023)      | 血清<br>各0.3 | 1  | 冷蔵 | 3~4  | 110点<br>(免疫) | FEIA法 | 0.35 UA/mL未満                   |
| 3353  | Ana o 3 (カシューナッツ由来)<br>(JLAC10 : 5A100-2794-023-023) |            |    |    |      | 110点<br>(免疫) |       |                                |
| 3354  | Hev b 6.02 (ヘックス由来)<br>(JLAC10 : 5A100-2764-023-023) |            |    |    |      | 110点<br>(免疫) |       |                                |
| 3355  | Gly m 4 (大豆由来)<br>(JLAC10 : 5A100-2398-023-023)      |            |    |    |      | 110点<br>(免疫) |       |                                |
| 3356  | Ara h 2 (ピーナッツ由来)<br>(JLAC10 : 5A100-2500-023-023)   |            |    |    |      | 110点<br>(免疫) |       | 0.35 UA/mL未満<br>判定(陰性/疑陽性/陽性)* |

\* 他のシングルアレルゲンとは判定基準および報告形態が異なりますので裏面をご参照ください。(クラス報告は行いません。) アレルギー専用報告書では報告されませんのでご注意ください。

なお、上記の新規項目受託開始に伴い下記の項目を受託中止とさせていただきます。

● 受託中止日 2019年2月1日（金）受付分より

● 受託中止項目

| 案内書掲載頁 | 項目コード | 検査項目              | 代替項目               |
|--------|-------|-------------------|--------------------|
| 未掲載    | 5060  | Ara h 2 (ピーナッツ由来) | 上記、新規受託項目をご利用ください。 |

上記5項目の詳細については裏面参照

## < 項目解説 >

「Jug r 1」はクルミ由来、「Ana o 3」はカシューナッツ由来の主要アレルギーコンポーネントの1つであり、現行の粗抽出アレルゲンをを用いた特異的 IgEクルミや、カシューナッツに比べ、臨床的特異度が向上しました。クルミアレルギーやカシューナッツアレルギーの診断においては、特異的 IgEクルミやカシューナッツと組み合わせて測定することにより、食物経口負荷試験対象者の抽出などにおける診断精度の向上に貢献するものと期待されます。

「Hev b 6.02」は、天然ゴム由来のアレルゲンコンポーネントの一つです。ラテックスアレルギーの主要アレルゲンの一つであり、臨床的特異度が高いことが知られています。ラテックスアレルギーの診断においては、特異的IgE「ラテックス」と組み合わせることで診断効率の向上が期待されています。

「Gly m 4」は、大豆由来のアレルゲンコンポーネントの一つです。豆乳などを摂取することで症状が誘発される「大豆クラス2食物アレルギー」の患者を、特異的IgE「大豆」と比べ高頻度に検出します。ただし、Gly m 4以外のアレルゲンコンポーネントが原因でクラス2食物アレルギーを発症した症例も報告されていることから、特異的IgE「大豆」も一緒に測定することが推奨されます。

## ● Ara h 2(ピーナッツ由来)

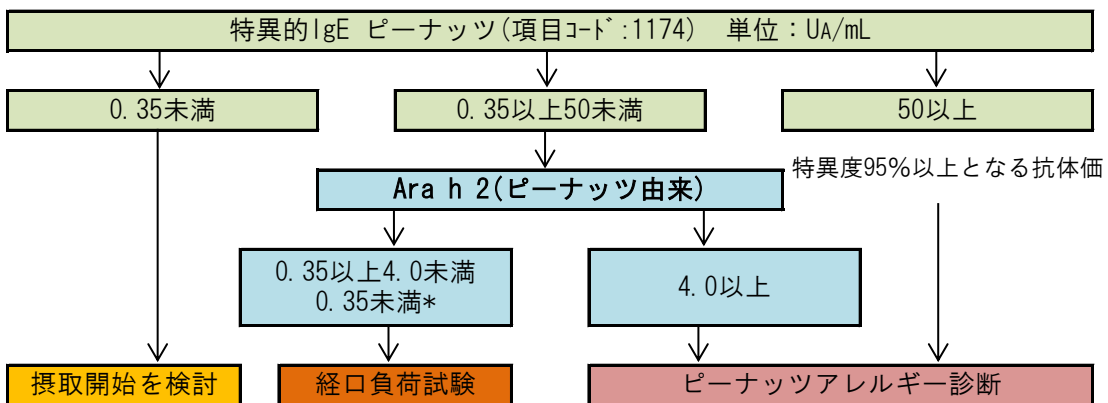
ピーナッツの主要タンパク質の一つで、臨床症状発現と強い関係性が報告されているコンポーネントです。特異的IgEピーナッツ(項目コード:1174)の検査結果と組み合わせて判定することで、より安全でより正確なピーナッツアレルギー、非ピーナッツアレルギーの判別に有用です。また、危険を伴うピーナッツの経口負荷試験の実施を減少させることが可能となります。

### < 判定基準 >

| IgE抗体濃度(UA/mL) | 判定  |
|----------------|-----|
| 0.35未満         | 陰性  |
| 0.35~3.99      | 疑陽性 |
| 4.00以上         | 陽性  |



### < ピーナッツアレルギー判定フロー(目安) >



実際の診断には血液検査の結果だけでなく、詳細な問診を実施し総合的に評価します。

\* ピーナッツアレルギーでもAra h2陰性となる場合があります。

患者さんの状況に応じて経口負荷試験を考慮します。(検査試薬メーカーの資料より転載)